

競技注意事項および大会規定

1. 本大会は、2024年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。
2. 各競技の招集は、トラック競技は競技開始時刻20分前、フィールド競技は40分前までに招集所にてプログラムに○印をつける。
最終確認は、トラック競技は競技開始時刻10分前にスタート地点で、フィールド競技は競技開始時刻10分前に現地で点呼を受ける。また、フィールド競技は、競技開始時刻40分前より、現地に入り、練習可能とする。
四種競技のトラック競技(ハードルと200m・400m)については、上記のとおり、招集所にてプログラムに○印をつけ、フィールド競技(走高跳と砲丸投)については、競技開始時刻10分前に競技場所で最終確認を受けることとする。
招集時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。
やむをえず出場種目を欠場する場合には、競技開始時刻30分前までに招集所へ欠場届を提出する。
3. アスリートビブスは、胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する者は片面だけでもよい。
800m・1500m・3000mの競技出場者は、腰ナンバーカードを右腰につける。
競技終了後、生徒役員(回収係)に返却すること。(アスリートビブスのない選手は出場できない)
4. 走路順・試技順はプログラム記載順とする。
5. トラック競技の予選はすべてタイムレースとし、上位8名が決勝に進出できる。
同タイム多数でレーン不足の場合は、抽選とする。
1500mは15名で決勝を行う。3000mはタイムレース決勝とする。
走幅跳・砲丸投については、6回の試技で順位を決定する。円盤投は3回の試技で順位を決定する。
6. 走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。
・走高跳・・・男子1m25、女子1m10より開始し、5cmずつ上げる。
・当日のコンディション等により、審判長の判断で変更する場合がある。
7. 走幅跳はA、B2つのピットを使用する。また、スタンド側をAピットとする。
8. 走幅跳・砲丸投は人数が多いため計測ラインを設ける。計測ラインは、当日のコンディション等により、審判長の判断で変更する場合がある。
男子 走幅跳 4m50 砲丸投 6m50
女子 走幅跳 3m70 砲丸投 6m00
9. 女子棒高跳・男女円盤投の出場選手数が12名を超える場合のみ2日目の最終種目として競技を行う。
また、男子棒高跳は、出場者数が22名以上の場合のみ競技を行うこととする。
10. リレーに出場する学校は、オーダー用紙に必要事項を記入し、予選は8時までに役員係(管理棟)へ、決勝は、13時までに写真判定室に顧問が提出すること。
11. スパイクのピンは、オールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳については12mm以下とする。(競技規則TR5.2)
12. 競技で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とする。

種目	シューズの底の厚さ
800m未満の競技(ハードル含む)	20mm以内
800m以上の競技	25mm以内

※フィールド競技用シューズは、競技規則TR5.2の適用除外とする。
※競技終了後に、シューズの確認をする可能性がある。
13. 当日の選手変更は認めない。

14. 天候、その他の都合で競技開始時間に変更のある場合は、放送により連絡する。
15. 参加者の傷病については、応急処置以外は責任を負わない。
16. レーンを使用する競技については、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
17. ウォームアップについて
 - ・芝生内でのアップは朝のウォームアップのみとする。(～9:15)
 - ・トラックを使用する場合(～9:15)
 - 1・2レーン……………ジョグ・長距離周回練習
 - ホームストレート3～6レーン……スタート練習
 - ホームストレート7～8レーン……………ハードル練習
 - バックストレート 3・4レーン……………流し練習
 - 5～7レーン……………リレー練習
 - ・直線種目時は、バックストレートでのウォームアップは可とする。
18. 競技場でのマナー、使い方について
 - ・競技場・スタンドなど施設を大切に使うこと。
 - ・応援及び付き添いの生徒は、競技場内には入らないこと。
 - ・弁当・空き缶等の片付けは、各校で責任を持って行うこと。
 - リレー競技に使用したテープについても同様です。
 - ・各自、持ち物の管理には万全を期すこと。(貴重品、自転車の鍵等)
 - ・レース後の選手は、ゴール付近からすみやかに移動すること。
 - ・大会に参加する全ての人が気持ちよく過ごせるよう、競技中や観戦のマナーを守ること。
 - ・保護者はスタンド(3段目より上)でのみ観覧することができる。また、選手は原則、保護者観覧席を使用しない。ただし、スタンドの1・2段目は選手が使用することができる。
 - ※スタンド(100mゴール側)は選手待機場所とする。
19. 県総体出場資格について
 - ・各種目21位までの個人、チームに県大会への出場資格を与える。(予選がある種目は、予選タイムで決定)
 - ・ただし、女子棒高跳・男女円盤投については11位以内とし、走幅跳・砲丸投については計測ラインを超えた上位21位に出場資格を与える。
 - ・四種競技の県総体出場資格は、11位以内または、標準記録(男子1250点、女子1315点)突破者とする。
20. その他
 - ・スタートの合図はイングリッシュ・コマンドとする。(「オン・ユア・マークス」、「セット」)
 - ・不正スタートをした競技者は1回目で失格とする(競技規則TR16.8)。
 - ・出場している種目において「黄」カード2枚で「赤」カードとなり、その該当種目で失格とする。
 - ・四種競技においては、不正スタートは1回のみとし、その後の不正スタートした競技者はすべて失格とする。
 - ・各種目で3位以内まで賞状を授与する。
 - ・生徒役員は、最後まで各校に割り当てられた仕事を行うこと。
 - 生徒役員の集合はありません。担当校で分担をすること。
 - ・競技場の開門を7:00とする。
 - ・競技役員駐車場(管理棟横)は、駐車許可書のある役員のみ駐車可能です。
 - ・選手招集やウォーミングアップなど各担当で工夫し、競技に支障のないようにしてください。
 - ・選手が集中した状態でスタートができるように、「オンユアマークス」の声がかかったら静かにすること。
 - ・本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、傷害保険の加入範囲内及び現場での応急処置以外の責任は一切負わない。なお、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
 - ・競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバーや携帯電話、もしくは、それらに類似の機器を競技区域内で所持または使用しないこと。
 - ・中体連主催の大会は、学校教育活動の一環です。会場内でスマートフォン等の電子機器類を使用することがないようにお願いします。ただし、連絡のための使用は可能とします。